



## 武田社長定例記者会見概要

5月25日午後3時から、武田社長による定例記者会見が、放送センター20階役員大会議室で開かれました。概要は以下のとおりです。

### <編成関連>

2016年度これまでの視聴率は、全日4位、G帯3位、P帯4位の状況。日曜劇場『99.9-刑事専門弁護士』が絶好調なスタートを切り、2話目以降も好調で週平均を押し上げている。

新バラエティは定着するまでもう少し時間がかかると思うが、引き続き『マツコの知らない世界』『ニンゲン観察バラエティ モニタリング！』『ぴったんこカン・カン』『金曜日のスマイルたちへ』など、曜日の顔となる番組が堅調に推移しており、楽しみな状況。

ベルト番組では、春のリニューアル後『あさチャン！』が、気象情報の井田寛子さんのコーナーも好評で、上昇傾向にある。『NEWS23』は定着には時間がかかっているが、日々のニュースをしっかりとお伝えしながら、視聴者の方々の信頼を得ていきたい。

### <営業関連>

4月のタイムセールスは、ネットタイムが単発では前年同様マスターズが貢献したのに加え、レギュラーセールスが好調に推移し、前年実績を上回った。

一方ローカルタイムは、前年実績を下回った。

タイム売上全体では、熊本地震の影響がありながら、前年実績を上回ることができた。今後は、現在放送中の「2016 リオデジャネイロオリンピックバレーボール世界最終予選」が貢献し、5月も前年を上回る見通し。

スポットセールスは、4月は前年比104.3%で着地し、5月も前年を上回る見込み。6月に関しては、ほぼ前年実績と同じで、更なる上積みを目指す。

### <事業関連>

5月7日に好調なスタートを切った映画「64-ロクヨン-前編」は、興行収入10億円を突破し、好調に推移している。劇場には、原作ファンと思われる50代以上の方のほか30～40代の皆さんに足を運んでいただいている。この勢いを堅持して、6月11日「64-ロクヨン-後編」のスタートまで走っていきたい。

### <ラジオ関連> TBS ラジオ 入江社長

5月23日に発表された4月の首都圏ラジオ個人聴取率は、週平均で1.3%を獲得し、TBSラジオは、2001年8月から14年10ヶ月連続でのNo.1をキープした。『ゆうゆうワイド』を引き継いだ2つの新ワイドに注目していたが、それぞれ健闘した。早くも高齢者から若年層へのリスナーのシフトも見られる。ラジオ全体のS.I.Uも前回2月調査から0.3%アップし6.8%。1年前から1.1%もアップし、昨年12月のワイドFM開局をきっかけとした上昇トレンドと言ってよい。ワイドFMの普及調査結果も発表されたが、実際ワイドFMを聴いた人は7.5%程度。ワイドFMの周知と受信機普及への努力次第では、まだ大きな可能性が残っていると言える。

5月9日の『六輔七転八倒九十分』の中で、永六輔さんの所属事務所からの正式コメントを紹介する形で、6月27日での番組終了を発表した。同卒の今後は未定。

9月22日(木・祝)、TBSラジオ・文化放送・ニッポン放送3局で「パックインミュージック×セイ! ヤング×オールナイトニッポン オトナフェス～深夜放送まつり」を開催。会場は幕張メッセイベントホール。出演はさだまさし、南こうせつ、森山良子 他。

2015年度の決算は微増収減益。

### <BS-TBS 関連> BS-TBS 星野社長

4月からレギュラー番組として、月曜19時『由紀さおりの素敵な音楽館』、土曜22時『ホンネDE ジャパン!』をスタートさせ、両番組とも好評を得ている。また、ゴルフ中継番組『ノジマチャンピオンカップ箱根シニアプロゴルフトーナメント』をBS単独放送し、存在感を高めた。6月6日は“BS-TBSの日”としてスペシャル番組『由紀さおりの素敵な音楽館3時間スペシャル』を編成、世界の歌姫・由紀さおりと素敵なゲストが夢のコラボ。他では聴けないハーモニーで今に甦る名曲の数々を放送するので是非ともご覧いただきたい。2015年度決算は増収増益を達成し、4月単月は営業収入が前期比13.7%増、営業利益も前期比170.1%増と好調なスタート結果を残すことができた。

以上